

会 告 (I)

日本鉄鋼協会第 56 回秋季講演大会講演募集

今秋 10 月 17, 18, 19 の 3 日間名古屋大学工学部における講演大会において講演御希望の方は下記要領お含みの上奮ってお申込み下さい。(詳細は後でお知らせします)

(1) 講演申込期日 昭和 33 年 6 月 10 日の締切を勵行いたします。

(2) 講演申込先 東京都千代田区丸ノ内 2 の 10 仲 14 号館 1 号日本鉄鋼協会宛

(3) 申込用紙 必ず次頁挿入の申込用紙に当該事項を御記入の上切り取って御送付下さい。
(講演時間は 20 分以内とします)

(4) 講演前刷用原稿

前刷原稿については必ず次の各項を厳守願います。

イ) 原稿は研究の内容が十分了解できるようにして下さい。(書き方は「鉄と鋼」寄稿規定(裏頁参照)に準じて下さい。

ロ) 原稿用紙は必ず協会所定の用紙を用いて下さい。

ハ) 原稿用紙の枚数は図, 写真, 表を含み 7 枚以上 11 枚以下にして下さい。

ニ) 図または写真 1 つが原稿用紙 1 枚に相当するものとして計算して下さい。ただしその数は図, 写真合計 5 つを限度とします。なお Fig. 1. (a) (b) (c) (d) などの併列図は紙面を多くとりま
すので採用致しません,

ホ) 表は本文中に含ませ, 別紙にお書きにならぬように願います。

ヘ) 図面及び数表中の文字は必ず英文にてお書き下さい。

ト) 原稿には講演題目(英訳併記)勤務先, 氏名を明記して下さい。(講演者には○印をつけて下さい)以上の規定に違反された場合は編集委員会で適当に処理致します。

協会所定の原稿用紙は 1 冊 30 枚綴り 30 円, 送料 8 円でおわけしますから 1, 2 冊の場合は郵便切手を封入して申込んで下さい。

(5) この講演前刷は会誌「鉄と鋼」昭和 33 年 9 月号として刊行致しますので編集および印刷の都合上締切後の受付は致しませんから原稿は 6 月 10 日の締切期日迄に必ず御送付願います。

(6) 講演される方は会員に限りますので, 会員外の方で講演御希望の方は入会の手続終了後御申込み下さい。

(7) 講演会場における講演用図表寸法は横 1,200mm (3 尺 6 寸) 以内, および図表掲示場所は二
カ所以内と致します。

“鉄と鋼” 寄稿規定

論文御寄稿の際は下記寄稿規定に御注意下さい。

1. 論文は本誌に載せる前に他の学協会誌およびこれに類する刊行物に発表されないものに限る。
2. 論文は本協会講演大会または地方講演会で予め発表したものであること、但し協会より特に依頼するものはこの限りでない。
3. 原稿用紙は本協会所定のものを用いること。請求あり次第（30枚綴1冊30円）お送りする。
4. 原稿の長さは、図表を含めて会誌5ページ（400字詰原稿用紙25枚）を超えないこと。
5. なるべく平易な口語体を用い、左横書とし、漢字はなるべく当用漢字を用い、かなづかいは新かなづかひによること。
6. 論文には必ず欧文要旨（タイプライター用紙1枚以内）を、その和文と共に添附すること。日本語標題と欧文標題とは必ず一致するように書くこと。
7. 図、表、写真はなるべく少くし同一事項を図、表両方で表わさないこと。図、写真は合せて1論文10個以内を原則とし、編集委員会で取捨することがある。
8. 図、写真数表には欧文の題目または説明を必ずつけること。
9. 図および数表中の文字は欧文で書くこと。
10. 図は巾を70mm程度に縮写しても明瞭に判読できるようにすること。図中の文字は鉛筆書きとすること。
11. 図、写真は別紙とし、原稿中にその挿入個所を明示すること。
12. 図は白紙または淡青色方眼紙に墨できれいに書き、直ちに凸版にできるようにすること。青写真は用いないこと。
13. 表はなるべく本文中に挿入すること。
14. ゴシック、イタリックを指定するときは、その文字の下にそれぞれ——、~~~~を附すること。
15. 数字およびギリシャ文字は丁寧に記載し、混同し易い文字等は特に注意して書くこと。
16. 数学式は印刷に便利なように注意し、本文中に挿入するときは a/b , $x/(a+b)$ のように書き、行の上下に出ないようにすること。
17. 参考文献は著者名、雑誌名、巻数、発行年度、号数、ページ数の順に記載すること。抄録、翻訳もこれに準ずる。
18. 原稿は編集委員会で取捨訂正することがある。
19. 単位、記号を表わすには次の例に従うこと。

km	キロメートル。	cm ³	立方センチメートル。	cal	カロリー。
m	メートル。	mm ³	立方ミリメートル。	A	アンペア。
cm	センチメートル。	h	時。	mA	ミリアンペア。
mm	ミリメートル。	mn	分。	V	ボルト。
μ	マイクロン。	s	秒。	mV	ミリボルト。
Å	オングストローム。	km/h	キロメートル・毎時。	Ω	オーム。
t	トン。	m/s	メートル・毎秒。	kw	キロワット。
kg	キログラム。	cm/s	センチメートル・毎秒	W	ワット。
g	グラム。	kg/cm ²	キログラム・毎平方センチメートル	°C	度(温度目盛)
mg	ミリグラム。	kg/mm ²	キログラム・毎平方ミリメートル。	%	パーセント。
m ²	平方メートル。	mmHg	水銀柱ミリメートル。	Ni-Cr-Mo鋼	ニッケル・
cm ²	平方センチメートル。	mmAq	水柱ミリメートル。		クロム・モリブデン鋼
l	リットル。	kcal	キロカロリー。		

会 告 (II)

総会議決事項通知

4月2日開催の本会第43回通常総会において下記の通り本会定款中一部変更が議決せられ、また理事、監事および評議員の選挙が行われ下記の通り当選いたしましたので、会員各位に御通知致します。なお、同日理事会において会長および副会長は次の如く互選されました。(本文中敬称略)

会長	塩	沢	正	一
副会長	石	原	善	雄
(副会長)	平	世	将	一

(任期中につき在任)

記

定 款 変 更

(1) 第19条を次の通り改める。

第19条 この法人に次の役員を置く。

1. 理事 15名(うち会長1名, 副会長2名)
2. 監事 2名
3. 評議員 150名以内

東京都およびその付近に在住の理事は少なくとも12名とする。

(備考)

現行定款第19条

第19条 この法人に次の役員を置く。

1. 理事 11名(うち会長1名, 副会長2名)
2. 監事 2名
3. 評議員 150名以内

東京都およびその付近に在住の理事は少なくとも9名とする。

(2) 付則に次の2項を加える。

第9条の変更定款は、認可のあつた日から施行し、昭和33年4月2日から適用する。

昭和33年度通常総会において選挙された理事2名の任期は、第21条の規定にかかわらず就任後第1回の通常総会の終るまでとする。

改 選 役 員

理事 大原 久之, 松本 豊(以上任期1年)
 石原 善雄, 川崎 勉, 塩沢 正一, 武田 喜三, 山本 信公, 柳 武, 吉崎 鴻造(以上任期2年)
 (在任中の理事 青木不二男, 伊藤 正夫, 佐藤 忠雄, 俵 信次, 橋口 隆吉)

監事 田畑新太郎(任期2年)
 (在任中の監事 河上 益夫)

評議員 大河原正太郎, 松本 義一(以上補欠, 任期1年)
 青木 均一, 芥川 武, 浅輪 三郎, 葦沢 大義, 網谷 俊平, 綾部 先, 荒木 透, 伊藤 五期
 井関 剛, 井村 荒喜, 石田 四郎, 石塚 条蔵, 石原 寅次郎, 石原 米太郎, 今井 勇之進, 岩井 雄二
 岩瀬 慶三, 内川 悟, 小原 大造, 小野 清造, 大元 博, 太田 久男, 荻野 一, 奥村 福次
 金森 九郎, 河田 重, 木下 茂, 菊田 多利男, 北川 一榮, 久保田 豊, 黒田 泰造, 小平 俊雄
 小林佐三郎, 佐野 幸吉, 西郷 吉郎, 里見 雄二, 寒川 恒一郎, 志村 清次郎, 篠原 武司, 菅野 猛
 園田 一夫, 田中 国雄, 田中 徳松, 高尾 善一郎, 武田 修三, 谷口 光平, 谷村 熙, 千葉 茂一
 出淵 国保, 富山 英太郎, 中安 閑一, 中山 育雄, 西村 吉太郎, 西山 弥太郎, 野島 福太郎, 橋本 宇一
 藤川 一秋, 藤村 哲之, 福島 政治, 堀田 之孝, 堀田 秀次, 松永 陽之助, 松原 与三郎, 箕田 貫一
 皆川 孝光, 宮代 彰, 村上 武次郎, 森 暁, 森 竜郎, 森 棟 隆弘, 八木 貞之助, 山川 貞雄
 湯川 正夫, 和田 龜吉, 渡辺 博史。(以上改選, 任期2年)
 (在任中の評議員)

足立 彰, 浅田 長平, 浅田 議, 伊東 寛治, 井上 友喜, 池ヶ谷 頼緒, 石田 稔, 入 一
 上野建二郎, 梅津 七蔵, 遠藤 勝治郎, 小島 新一, 大谷 米太郎, 大森 基一, 岡田 儀一, 岡村 武吉
 香春三樹次, 嘉村 武平, 桂 弁三, 川上 義弘, 大金 小里, 川手 幸夫, 川端 駿吾, 木村 音知
 菊池 浩介, 絹川 武良, 葛 誠四郎, 桑井 孝二, 小里 村, 幸夫, 成康, 佐藤 清, 木村 藤三
 斎藤 豊三, 斎藤 弥平, 高 誠, 里 井 孝三, 谷 川 伸二, 外賀 成雄, 志賀 康, 野 喜代
 田畑 農夫, 多賀 谷 正義, 高 義雄, 滝沢 工, 谷 川 正信, 平岡 健吉, 島 中島 重
 丹羽 貴知蔵, 西村 秀雄, 錦 清治, 峰 茂雄, 浜 田 正助, 岡 正哉, 田 正助, 田 村 嘉治
 増本 量, 町永 三郎, 的 幸雄, 松本 兼二, 宮下 格, 村尾 時二, 山内 隆, 山田 良
 毛利 三郎, 望 要, 森 崎 晟, 森 恵三郎, 森 志郎, 山内 隆, 八木 貞之助, 山川 貞雄

会 告 (III)

ベイン博士講演会開催

ベイナイト組織の発見者として著名なアメリカの冶金学者 E. C. ベイン博士は本年4月6日来日され約2カ月滞在される予定であります。本会ではこの機会に下記により同博士の講演会を開催することといたしました。会員各位お誘合せの上多数御聴講下さるよう御案内申し上げます。

記

1. 日 時 昭和 33 年 5 月 27 日 (火) 13・30 から約 2 時間
2. 場 所 大和証券ホール (東京都千代田区大手町 2~8 大和証券ビル 8 階 都電バス, 呉服橋下車)
3. 演 題 アメリカにおける冶金学研究の最近の進歩
4. 講 師 E. C. Bain 博士 (通訳 八幡製鉄 山 形 清 氏)

なお関西支部においても同一演題による同博士の講演会を5月14日(水)13時から大阪商工会議所において開催いたします。

論文執筆要領について

本年6月号より下記の如く論文の執筆要領を一部改めましたので御寄稿の際これによつて御執筆をお願い致します。

記

一論文が数報に亘る場合は原則として各報ともその副題を本題とし、それにシノプシス(英和両文)および結言をつけ主題は副題の下に括弧を附して併記すること。

例: 焼入性におよぼす酸素の影響について
(鋼の焼入性に関する研究第3報)

なお同一主題による前報告を引用するときは必ずその報告の掲載された会誌の巻, 号, 年および頁範囲を参考文献として文末に記載すること。